

麻生区役所太陽光発電所から自然エネルギーを普及させるために

おひさまだより

発行 麻生区クールアース推進委員会 2024年11月

麻生区地域課題対応事業



おかげさまで第50号！

「おひさまだより」の創刊は2003年2月15日です。お二人の方から第50号に寄せて、お祝いとあたたかい励ましのお言葉をいただきました。

Contents

- ・おかげさまで第50号！
- ・夏休み環境イベント『ソーラークッカーを作ろう』を開催
- ・災害時にも役立つ「中條式ソーラークッカーの作り方」
- ・第12回スマートライフスタイル大賞最優秀賞受賞団体紹介
- ・2024 里山フォーラム in 麻生に参加
- ・第42回あさお区民まつり
- ・寺子屋くりぎだい&寺子屋あさお／編集後記



川崎市麻生区長

山本奈保美 さん

おひさまだより第50号の発行を心よりお祝い申し上げます。

貴会は、2003年の区役所への太陽光発電設備設置以来、イベントや出前授業、講演会、施設見学会など地球温暖化防止に関する普及啓発の取組を継続してこられました。おひさまだよりもその一翼を担い、市民のSDGsへの意識が高まる中、効果的な情報発信をしていただき感謝しております。

これからも、SDGs推進に向け、ともに取組を進めてまいりたいと考えております。



NPO 法人アクト川崎

理事長 廣瀬健二 さん

「おひさまだより」第50号の発行、おめでとうございます。バックナンバーを見ると、私は、様々な立場（川崎市職員、個人、アクト川崎理事）で掲載されてきました。

22年前の発行当時、地球温暖化の影響は「孫の代」に顕在化する危機として捉えていました。今では「気候沸騰化」の時代になり「今、ここにある危機」となっています。

貴会の活動がこれからも発展することを期待します。共に脱炭素社会を目指して頑張りましょう。



夏休み環境イベント

『ソーラークッカーを作ろう』を開催



8月4日（日）は、ソーラークッキングには十分過ぎる晴天でした。今年は市販のキットを使わずに100円ショップのガスコンロ用シートなど身近で手に入る物で、ソーラークッカーをつくろうという企画です。抽選に当選した参加者24組61名（内、子ども30名）は、麻生区役所第1会議室に10時に集合し、スタッフ14名（委員7、OB3、区役所他4）とともに約2時間のイベントに参加しました。

子どもたちは、最初にパネルシアター『ちきゅうがあぶない』をみて、地球で起きている環境変化やその原因、影響を受ける人や動物の姿を学びました。シアターの最後には、「環境にいいことをやろう！」と出演スタッフと一緒に氣勢を上げました（写真）。

さあ、いよいよ工作にとりかかります。アルミのガスコンロシートとダンボールにはあらかじめ切り抜きのための線が引いてあるので、それに沿ってハサミでどんどん切り抜いていきます。アルミは楽に切れますが、ダンボールはかなり力が必要で、皆さん苦戦していましたね。円に切り抜いたアルミとダンボールを貼り合わせて、丸い土台を組み立てていきます。あれ、順番がわからなくなっちゃった、「教えてください」の声があがります。最後に、大きなアルミの円盤の内

側を土台の周りに差し込んで、クリップで留めて「あさがお」状にしたら完成です。おっと、まだ完成していないのに、アルミ缶の色塗りに没頭している子どもたちがいるぞ。皆さ～ん、早く完成形にしましょう。

こうしてなんとか自分のソーラークッカーを完成させた子どもたちは、スタッフに誘導されて区役所の屋上に上がりました。屋上に設置されている太陽光発電設備の説明を受けた後、大きなソーラークッカーでサツマイモやカボチャが焼ける香りをかぎ、卵をフライパンに割り入れて「ジュ！」と音がするの





に驚き、ソーラーカーが走るのを追いかけてきました。でも、ちょっと暑すぎたかな。

会議室に戻った子どもたちは、屋上のソーラーキッチンで焼けたサツマイモやカボチャを振る舞われました。太陽の光でこんなに美味しく焼けるなんて、とみんな沢山食べました。締めくりにクイズに挑戦です。パネルシアターで学んだことなどを思い出しながら、元気に手を挙げて答えました。最後の感想は「楽しかった！」楽しく学べる場を提供できて、よかったです。

アンケートから 「あさがお」の工作は、一部に「難しかった」という回答もありましたが、大多数は「うまくできた」ようでした。パネルシアターや屋上見学も「よく分かった」と答えた子どもたちが大勢でした。

子どもたちの感想から抜粋すると、低学年では「楽しかった」「やきいもがおいしかった」「早く家でたまごを入れてやってみたい」などの素朴な声が、高学年では「太陽の力がすごいことがわかった」「地球は今あぶないのを知って、CO₂を出さないようがんばりたい」など先を見据えた声が聞こえてきました。

保護者の声では、「パネルシアターは小さな子どもでも分かりやすかったと思います」「準備が大変だったと思います。ありがとうございます」「日々の生活で取り入れ、災害時にも役立てたい」など、子どもたちと一緒に楽しめたことへの感謝の声を多数いただき、スタッフ一同苦労が報われました。

(小林知江、森脇厚一郎記)

災害時にも役立つ「中條式ソーラーキッチンの作り方」

2015年大会主催の施設見学会で足利大学「風と光のひろば」を訪問した際、現名誉教授の中柴先生に教えていただいたソーラーキッチンをずっと愛用しています。畳めばかさばらないので、災害用に準備するのはいかがでしょうか。

<用意するもの>

アルミシート(テーブルコンロ用ワイド下敷き 220円)
クリップ3個、調理容器、PP(ポリプロピレン)袋、
ビニタイ、割り箸

<作り方>

- 1) アルミシートを1番大きな正方形になるように切る。
(今回は1辺の長さ72cmに合わせて調理台Dが正方形になるよう各寸法を決めました。100cm角なら37cm、26cm、37cmです。)
- 2) マジックで、図のように切り抜き線(黒実線)と折り曲げ線(点線)とガイド線(青線)をかく。
- 3) ハサミで黒実線を切り、点線は谷折りする。

<組み立て方>

- 1) AとBを合わせてクリップでとめる。
- 2) ①をガイド線①に合わせ、②をガイド線②に合わせ、クリップでとめる。

<セットの仕方>

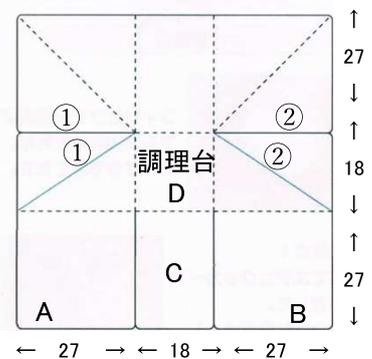
- 1) キッチンを太陽の向きにセットし、太陽の動きに合わせて、時々動かす。
- 2) 飯ごうなど、濃い色の容器を使い、PP袋に入れてビニタイで口を閉じ、キッチンに割り箸2本を置きその上にセットする。割り箸もPP袋も熱が逃げるのを防ぐ保温目的。ご飯でも、ケーキでも、いろいろな調理が可能。●熱くなるのでやけどに注意!

注1) AとBをとめる時、間のシートCを折らないで地面に残し、その上に重石などを置くと、風にも安定。

注2) お芋や卵など、黒色クッキングホイルに包んで直接置くこともできる。

注3) ソーラーキッチン、アルミシートの裏にダンボールを木工ボンドで貼り合わせれば丈夫になる。

(天野悦子記)



第12回(2023年度)
スマートライフスタイル大賞最優秀賞
受賞団体の紹介

エコガーデンはるひ野

花・ひと・街をつなぐ
～循環型エコ活動～

スマートライフスタイル大賞は、川崎市が脱炭素に貢献する市民や事業者等の取組を表彰し、広く発信することで地球温暖化対策を推進することを目的としています。2023年度最優秀賞に選出されたエコガーデンはるひ野の取組を紹介します。

2013年駅前に花壇を作り、花をきっかけにひとがつながる循環型街づくりを目指して町内会と連携活動。「メンバーが各家庭の生ごみを堆肥化し、花植え時や追肥に使用して、10年間で16トンの生ごみを削減。親子花植えやワークショップ開催など楽しみながら地域交流を深めエコの輪を広げた。」と評価されての受賞です。

詳細は募集チラシのQRコードからご覧ください。(天野悦子記)



木製コンポスト設置で植替え時の株も日々
の花がらや雑草も堆肥化し、ごみゼロ！

会員募集中!!



エコガーデンはるひ野

はるひ野駅前花壇は、多くの方が行き交う玄関口です。
花で癒しと元気を町の人にお届けできる花壇ボランティアを、一緒に楽しみませんか？
花を通して地域の輪が広がります。
もちろん園芸初心者も大歓迎です！

- * 定例会：毎月第一水曜日
地域交流センター
- * 水やり当番：週ごとの当番制
月2回程度
- * 花植え：年2回



ダンボールコンポストの堆肥で
土が元気に！

家庭から出る生ごみを堆肥化し、
花壇の土に混ぜています。
良く育ち、花の色がとても鮮やかです。

メンバーが綴るブログ
「観察日記」で
活動の様子をご覧ください



お問い合わせ・会員申込み
eco2013haru@gmail.com

駅前花壇を行き交う多くの方が、四季折々色鮮やかで元気に育つ花や緑を楽しんでくださっています。私たちは堆肥の効き目のすばらしさや生ごみの削減効果を自信を持ってアピールしています。さらに抜いた花や落ち葉で腐葉土を作る新たな取組にも挑戦中です。

今後も一人でも多くの方へ「誰もができることから始めましょう！」と呼び掛けていきたいと思えます。(エコガーデンはるひ野代表)

参加しました

2024 里山フォーラム in 麻生(第23回)
～来て・見て・語ろう！足元の自然とかがわる暮し～

2月23日(金・祝) 10:00~15:30、麻生市民館大会議室に麻生区のみどりを守り・環境を守り・命をはぐくむ36団体に加え、岡上小、東柿生小、柿生小の子どもたちも参加しました。



第1部のオープニングは柿生中学校吹奏楽部のマーチでした。区長、里山フォーラム代表の挨拶後、わたしのまちのホッとする風景写真展の表彰式が行われました。それぞれの小学生たちは隣接の里山で学んだことを発表し、お楽しみワークショップでは「ムクロジで遊ぼう」「炭に触って切ってみよう」にチャレンジしました。

第2部では市民館館長の挨拶や、堂前雅史和光大学教授による基調講演「足元の生物多様性から未来へ」がありました。展示団体によるトークリレーでは、我が委員会から井上正樹委員が「脱炭素の重要性」を訴えました。最後に、地元農産物の紹介・抽選がありました。(児嶋脩記)

川崎市市制 100 周年記念事業 第 42 回 あさお区民まつり

10 月 13 日(日)、会場入り口の太陽の当たる位置にソーラークーラーを展示してブースを構え、自然エネルギーを使ったデモンストラーションや説明を行いました。好天に恵まれ、多数の親子連れ来場者に太陽光で動くおもちゃを通して、自然エネルギーのありがたさを実感して貰うことが出来ました。

子どもたちはおもちゃを見つけると、目を輝かせて、興味深く見入っていました。太陽光を遮るとピタッと止まってしまう状況にも目を丸くして喜んでいました。
(井上正樹記)



寺子屋くりぎだい

10 月 12 日(土)栗木台小学校で寺子屋体験学習『SDGs を学ぼう!!風力発電機だよ〜』を実施した。

初めに委員で気象予報士の森脇さんから「自然エネルギーって何だろう?」の講義で気候危機の現状と私たちに出来ることを学んだ。続いてお待ちかねのペットボトルでの風力発電機工作を行った。子どもたち自身が、風車のプロペラの形状だけでなく、尾翼の形状や丈夫さも工夫する姿はたくましかった。

まとめでは「なぜ皆さんはクールアースの活動に参加されたのですか?」という質問があり、参加した委員 4 人が各々の思いなどを語った。子どもたちの参考になったならば幸いである。

今回は児童 13 人とそれぞれの保護者が一緒に勉強や工作を行い、楽しかったとの感想が多かった。

(三好一義記)



寺子屋あさお



10 月 19 日(土)麻生小学校で寺子屋体験学習『SDGs を学ぼう! ペットボトルでソーラーエコライトを作る』を実施し、参加は児童 22 人と保護者 13 人。

初めに「自然エネルギーって何だろう?」の講義で「地球温暖化のこと、自然エネルギーの大切さ」を勉強した。続いてエコライトの工作を行った。紙製ボディ作りはボンドを使うが、多く塗りすぎて上手くくっ付かない、なかなか乾かないなど苦戦する子が多く、委員会メンバー 4 人と寺子屋スタッフ 4 人がサポートした。出来上がったエコライトを見せ合って皆で記念撮影をした後、まとめとクイズを行い、感想を書いて終了。

「私は地球なんて関係ないと思っていました。でも、今日勉強したおかげでこれからは節電しようと思いました。」「今日は、自然エネルギーのすごさについて楽しく学べてよかったです。節電、節水を今からでも心がけたいです。」「たのしかった」など好評であった。帰り際「子どもはもちろん大人にも良く分かる解説をしてもらったので大変参考になった」とのうれしいコメントをいただいた。(三好一義記)

「たのしかった」など好評であった。帰り際「子どもはもちろん大人にも良く分かる解説をしてもらったので大変参考になった」とのうれしいコメントをいただいた。(三好一義記)

編集 後記

1 面に掲載したように「おひさまだより」は第 50 号を迎えたことで、麻生区長山本奈保美さんとアクト川崎理事長廣瀬健二さんからお祝いと励ましの言葉をいただいた。これまでのご厚情に心から感謝申し上げます、これからも「共に」活動していくことを願う。よろしくお祈り申し上げます。

「おひさまだより」は創刊から 21 年間、区民のみなさんへ地球温暖化防止と自然エネルギー普及の情報を届けてきた。みなさんの日常の暮らしの中に役立てていただくことを願いながら。

今年も暑い夏だった! 「2 年連続で最も暑い 6~8 月を記録した」との気象庁の発表(9 月 2 日)。また台風の影響や豪雨などで、河川の氾濫や土砂崩れによる被害も大きかった。そして猛暑は 9 月のお彼岸まで続いた。これらの異常気象の原因は地球の温暖化とされる。なぜ、このような人類存続の基盤である地球が危機的状況にあるのに、日本はしっかりとした気候変動対策を取れないのか? 根底には経済成長を前提とした社会の在り方や生活の仕方など根本的な問題があるように思うこの頃である。(飯田和子記)

発行: 麻生区クールアース推進委員会 (委員長 児嶋脩)

編集担当: 飯田和子、児嶋脩、小林知江

問合せ先: 事務局 林恵美

Tel/ Fax : 044-299-6460 E-mail : asao.cool@gmail.com

発行日: 2024 年 11 月 8 日

